

2003.

08.

ミニ・ホームページ

「イースト中崎情報局」

できました

↑こんな言い方もうしませんね

100%不定期刊

アドバム通信

た く ま だ よ り



# 朝日新聞さんがやってきた。 でもすぐ帰った。



## 「天六うどん屋さん88カ所探し」その2

きっかけは、この『アドバム通信』。  
この前に出した5号です。

その5号を見た朝日新聞の人から連絡をいただきました（朝日新聞さんにもこの『アドバム通信』を送っています）。

「うどん屋さんを探している行動が面白いので」ということで、ぼくの会社まで取材に来ていただきました。

ですが、あつと言う間に帰ってしまいました。

「写真載せるのですか？それはいやです」とか「年齢も載せるのですか？それもいやです」と最初にぼくがイヤイヤ光線を発してしまい、朝日新聞さんを怒らせてしまったからです。

せっかくこの『アドバム通信』のことを、ぼくの会社の近所の人たち以外に知ってもらえると思ったのですが、仕方ありませんでした。

というのも、ぼくは天六のうどん屋さんを探しているけれども、うどんのことに詳しくありません。

ぼくよりもっと詳しい人がいるのに、写真まで載ってしまったらどんなことになったでしょう。

●  
そんなぼくでも去年「さぬきうどん講習会」というものに参加したことがあります。

これまた朝日新聞さんが関係している朝日カルチャーセンターさん主催のものです。「讃岐うどん経営者養成講座」と題されたセミナーに3日間ほど通いました。

そこで習ったのは、さぬきうどんの作り方やさぬきうどん店とはどのようなものかということ。

微妙な水加減、微妙な塩加減が、うどんに影響を与えるということでした。

大袈裟に言えばスポイト1滴の水の量で、出来上がるうどんの味が変わるといことです。

さぬきうどんは、うどんをトントン足で踏んで麺のコシを出していきます。しかしその前に、うどん粉に塩水

をまぜる段階でうまいかどうかが決まるというものでした。

熱心に教えてくださる先生を見ながら、「またまたあへ。そんなこと言って」と思っていたのですが、自分でうどん粉を買い、習ったうどんを家で作ってみると散々でした。

ある時、ちょっと塩水を多く入れすぎたと思ったことがありました。踏んでコシをだそうとしても、ふにゃふにゃ。結局最後にはドライヤーでうどんの生地を乾かすことになりました。

またある時は塩水が少なすぎました。麺棒で生地を伸ばそうにもウンともスンとも伸びてくれず、鏡もちを切ったようなうどんを食しました。

●  
そんなことで、ぼくのさぬきうどん修行は今も続いています。ぼくと一緒に朝日カルチャーセンターさんでうどん講習を受けた人が、このたびうどん屋さんを開店されました。

場所はこの天六ではなく、難波の道具屋筋の近く。

天六近辺の地図で紹介できなくて残念です。

そのお店の名前は「釜たけうどん」と言います。

「釜たけうどん」さんの店主さんのハンドルネームは「たけちゃん」と言います。さぬきうどんが今のようになる前から、インターネットのホームページで「大阪の讃岐うどん情報」を紹介していた人です。

今ではテレビで取り上げられたり、『あまから手帖』さんの記事になったりと、大阪でも指折りのおいしいうどん屋さんとして評判になっています。

難波の道具屋筋や、本屋のジュンク堂さん、吉本興業さんの『NGK』近くを通られた時は、一度お立ち寄りください（定休日は日曜で、平日も午後4時くらいには閉まります。たまに土曜日もお休みされるので、営業日と時間にはご注意ください）。

「釜たけうどん」さんのホームページ

<http://kamatakeudon.kt.fc2.com/>

（地図もありますので、こちらでご確認を）

# 何を血迷ったか。 「イースト中崎情報局」開設。

http://pro.tok2.com/~ohho/tapp/



ごあいさつが遅くなってしまいました。  
私、「うどんカウンター」のホームページに引き続き、「イースト中崎情報局」というものを作ってしまった。

●  
と、言いますのも、ヤフーさんとかの検索エンジンを使っても、「イースト中崎」って言葉がヒットしないのですね。

「え?『イースト中崎』って何?」

そう思われた方も多いことでしょう。

「イースト中崎」と言いますと、ぼくが勤めている印刷会社タップハウスの周辺が、今や「イースト中崎」と呼ばれるトレンドタウンとなったのであります。

大阪市北区の中崎町より東側、「中崎」「浮田」「黒崎町」「浪花町」は、「堀江」「中崎町」に続き、大阪府民なら誰もが行きたい注目のスポットとなっているのです(かな?)。

ご存知でしたか?

ご存じではなかったでしょう。ぼくもつい先日まで知りませんでした。

でも、きちんと『関西1週間』とかの情報誌では、「イースト中崎」と紹介しているのですね。

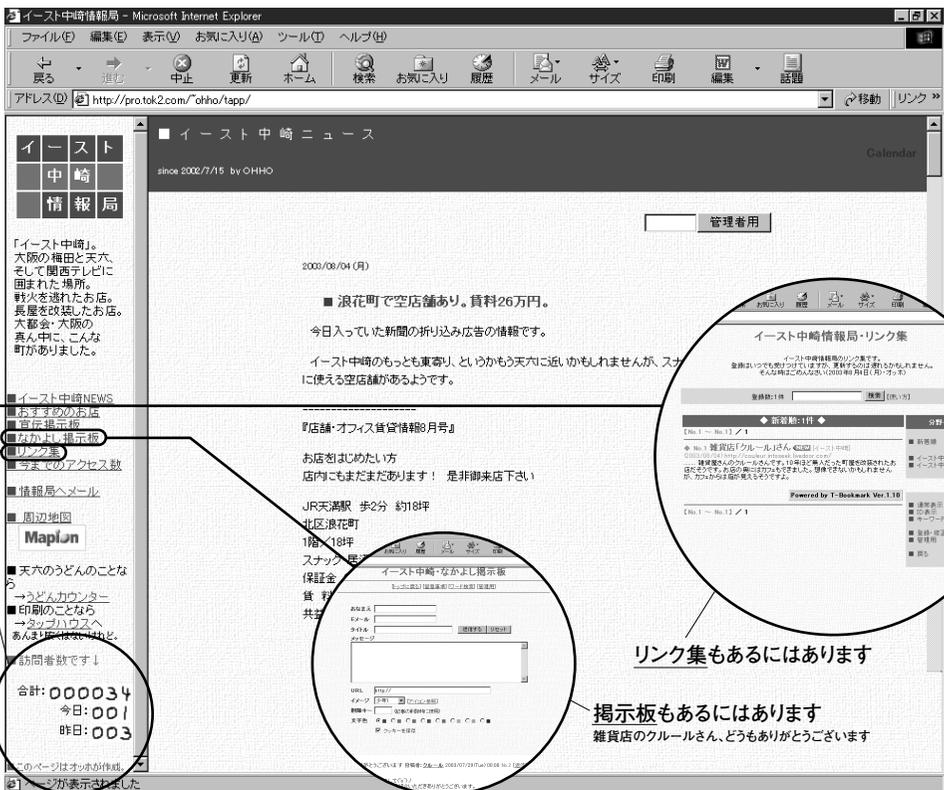
でも、全世界を見渡す限り、「イースト中崎」を取り上げたホームページはありません。

「ど、どないなっとるんや」です。

注目のスポットなのに、「誰にも注目されていない」なんて、寂しすぎます(注目されていないの?)。

だったら、「やったる、ワイがやったる」です。

ホームページ作りました。まだ、ぼくが午前と午後の2回見ているだけですが、ご用がありましたならば、「イースト中崎」の一市民としての義務感を持って、チラリとのぞいていただければ、ぼくは泣いていいですか?



訪問数は  
なんとまだ  
34カウント  
(8月5日現在、ほとんどが私です)

